

活動報告 2026 年 10 月号



会議関係

カリタスジャパン委員会(9 月 4 日)

国内一般案件 5 件、海外一般案件 1 件が承認されました。

援助金交付先一覧(2026 年 9 月 1 日~30 日)

■海外案件

カリタス・インド

オリッサ州コミュニティ災害強靱化プロジェクト(2 年目) 7,902,500 円

サイクロンや落雷、熱波などの自然災害に脆弱なオリッサ州では、村ごとに行う自然災害予防や発災時の情報伝達について平時から備えることを目指しています。モデル自治体として選ばれた 4 村の防災・減災モデルを構築し住民啓発を行うことを通じて災害管理能力を高め、プロジェクト終了後に州内の他自治体に展開されることが期待されています。



中学校周辺ハザードマップの説明 ©Caritas Japan

カリタス・ベネズエラ

2026 年 6 月大地震対応 10,612,330 円

6 月 24 日に発生した 2 回の地震により中北部ラ・グアイラ州、ミランダ州、カラボボ州、アラグア州と首都カラカスに甚大な被害をもたらし、2 万人を超える被災者が避難しています。

被災者の尊厳を維持した避難生活や、メンタルを含む保健、治療を支援するため、カリタス連盟加盟組織が人的・資金面の支援を行っています。

カリタス・ソマリアとカリタス・アイルランド ベイ、ゲド及びスール地域における統合的緊急対応とエル・ニーニョに対する予備対応

3,587,800 円

ソマリアはアフリカ大陸東部「アフリカの角」地域にあり、海水温度上昇によるエル・ニーニョの影響を受け、降雨量の減少による土地の砂漠化、主産業であ

る牧畜の喪失と干ばつにより生計手段を失った国内避難民を多く生み出しています。このような避難民に対する 3 地域における水と食料、保健と栄養面の支援を行っている 2 団体の活動を支援します。

■国内案件

カリタス南三陸

みちのくコミュニティ復興支援(2026) 5,000,000 円

南三陸町の津波被災地で心に悲しみを抱えている方達に寄り添い、終の棲家での地域コミュニティを築いていきます。心のケアや生活再建を進め、被災された第一次産業従事者に対し、ボランティア活動と共に傾聴活動を行います。伝承、ボランティア受け入れ、カリタスみちのくを通じたカリタス石巻・南相馬との連携も継続します。

輪島支援協働センター

災害支援資機材保管・活用拠点整備 2,000,000 円

地域の支援団体や住民が平時から備え、連携できる体制づくりを行い、生活再建や地域コミュニティの再生に向けた支援を継続します。残された支援ニーズに対応しながら、能登半島地震被災者支援で得た教訓を次の災害に活かす上で、災害支援用資機材や物資、備蓄品を平時から保管・管理します。

カリタスのとサポートセンター

2026 年度「令和 6 年能登半島地震」被災地支援活動

11,154,070 円

輪島地震災害、豪雨災害被災者に寄り添う支援活動を続けます。ボランティアの減少、ボランティア団体の撤退などが予想される中、社会福祉協議会を始め民間ボランティア団体との提携を進めながら引き続き支援活動を進めます。カフェ活動、作業ボランティアの派遣、コミュニティの再形成、緊急物資支援を行います。七尾ベース、輪島ベースの 2 拠点の運営管理も行います。

カトリック名古屋教区

2026 年度「令和 6 年能登半島地震」被災地支援カリタスのとサポートセンター組織強化 12,407,513 円

現場で支援活動を継続するカリタスのとサポートセンターの組織強化を、カトリック名古屋教区として全体感を持って後方支援します。

**カトリック難民移住者支援ネットワーク
難民移住者を誰一人取り残さないセーフティネット構築
事業立ち上げ支援(1年目)**

2,200,000 円

カトリックの精神に基づき、全ての人の基本的人権と尊厳が尊重され、多様な文化および民族性を大切にする共生社会の実現に寄与するために、日本に暮らす難民および移住者の人権と尊厳を守るための支援、ネットワーク構築、啓発、政策提言の活動等を行います。立ち上げ支援としての三年間のうちの1年目の支援です。

ひごのいえ

グループホーム サテライト(2戸)開設事業

1,000,000円

当該団体は、依存症に苦しむ方々への支援、刑務所等の被収容者の方々への支援、その方々の居場所としての「ひごのいえ」は社会に必要な活動に取り組んでいます。この活動のうち、一定期間の共同生活を終えた後のフォローアップとして、一人暮らしをする方々が孤立にならないように支えるためのサテライトホームの環境整備として、支援します。

World Open Heart

東京都内における「加害者家族のための相談会」事業

900,000円

当該二一ズが高まる中、ケースに対応した弁護士、医療機関、支援組織など、地方によって社会資源が不足しており、この分野の支援に取り組む団体が少ないため、各地での相談会が必要とされている。この度は、東京都内で相談会を開催する事業を支援しています。

**エモーショナルリテラシーセンター
新拠点における「生きなおし応援」環境整備事業**

2,000,000 円

近年、高齢刑務所出所者の受け入れ相談が全国で急速に増加しています。特に高齢の刑務所出所者は働くことが難しく、医療や福祉に繋がりづらく、社会から孤立し、再犯に至るケースが多いため、当該団体は、これらの方々には生きなおしのためのサポートをしています。受け入れの増加に対応するため、新拠点の確保と環境整備事業を支援しています。

2026年9月1日～30日 献金額

単位：円

部門	金額
CJ 運営寄付	13, 000
本年四旬節	4, 959, 192
国内援助	7, 891, 828
海外援助	9, 281, 441
クリスマス募金	61, 530
能登地震	409, 262
国内災害対応	143, 000
令和8年熊本地震	9, 496, 561
スーダン	160, 000
ウクライナ人道支援	542, 751
ガザ人道支援	422, 606
ベネズエラ地震	2, 515, 892
ネパール土石流	4, 938, 263
マンスリーサポーター	674, 200
総計	41, 509, 526